

北条

HOJO

政子

MASAKO

Women who lived in Kamakura

鎌倉を
生きた
女性たち

— 没後八〇〇年 —

2025 — 12.13 (sat) — 2026 — 2.28 (sat)

主催 鎌倉歴史文化交流館（鎌倉市教育委員会）

開催期間 令和7年（2025）12月13日（土）
令和8年（2026）2月28日（土）

開館時間 10時～16時（入館は15時30分まで）
休館日 日曜・祝日・休日・年末年始

観覧料 〇（一般）400円（小学生）150円（中学生）100円※

住所 〒248-0001 鎌倉市扇ガ谷1-5-1
アクセス JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分

TEL 0467-73-8501 FAX 0467-73-8545
Eメール rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

※「」内は20名以上団体料金※本料金で本館平常展示もご覧いただけます。

※身体障がい者手帳の交付を受けた方と付添1名、鎌倉市に通学している小学生から大学院生及び市内在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。

※一般用の駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

※障がい者等用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。

www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html

鎌倉歴史文化交流館
Kamakura Museum of History and Culture

北条政子

HOJO

MASAKO

Women who lived in Kamakura

嘉禄元年（一二二五）七月十一日、北条政子は六九歳でその生涯を閉じました。前年には弟の北条義時が、同年には重臣の大江広元が亡くなっています。源頼朝亡き後の幕府を支えた人々が次々とこの世を去ったことで、鎌倉は大きな節目を迎えることになりました。

政子の死から遡ること約五〇年。政子の運命は、伊豆に流されていた頼朝との出会いによって大きく変わりました。伊豆国に育った二人の女性は、やがて將軍の御台所となり、頼朝の死後は「後家（家長権の代行者）」として幕府を支えました。さらに三代將軍実朝の死後には「尼將軍」として幕府政治の実権を握り、動乱の鎌倉を導いていきます。同時代の僧・慈円は「愚管抄」で、政治家政子と京都の藤原兼子が面会し政治を動かす様子を、「女人入眼ノ日本国（女性が仕上げる日本）」と評しています。

一方で、政子は娘と息子を慈しみ、母としての顔を持つ女性でもありました。晩年には、非業の死を遂げた息子実朝や、二〇歳の若さでこの世を去った娘大姫のために、勝長寿院の傍らに新たな伽藍や自身の持仏堂と御所を建て、追福の日々を過ごしています。

本年は、北条政子の没後八〇〇年にあたります。本展では、政子の生涯をたどりながら、中世の鎌倉を生きた女性たちの姿と社会のありようを紹介します。



北条政子坐像 大正時代（安養院所蔵）



A



B



C



D



E



F



G

北条政子展 関連イベント

企画展

「没後八〇〇年 北条政子 — 鎌倉を生きた女性たち —」
に合わせて、左記のイベントを開催します。

学芸員によるギャラリートーク

開催日／会期中の毎週木曜日 10時30分
募集方法／申込不要

夜間講座①

講座／「くずし字とはじめ — 北条政子の史料をよむ —」
開催日時／令和8年1月30日（金）18時～19時30分
場所／鎌倉歴史文化交流館別館交流室
定員／20名
講師／当館学芸員

夜間講座②

講座／「政治家・北条政子について」
開催日時／令和8年2月20日（金）18時～19時30分
場所／鎌倉歴史文化交流館別館交流室
定員／40名
講師／当館学芸員

募集方法

募集方法／e-kamakura.jp及び住復はがき 定員を上回った場合は抽選 詳細は当館ホームページをご覧ください。



- A 白衣観音図 鎌倉時代 鎌倉市指定文化財（寿福寺所蔵）※1月24日まで
- B 史跡永福寺跡内経塚出土遺物 鎌倉時代 神奈川県指定文化財（鎌倉市教育委員会所蔵）
- C 藤菊螺鈿蒔絵手箱図巻 江戸時代 鎌倉市指定文化財（鎌倉国宝館所蔵）
- D 転法輪鈔 鎌倉時代（国立歴史民俗博物館所蔵）
- E 極楽寺殿御消息 室町時代（国立歴史民俗博物館所蔵）
- F 御成敗式目 室町時代（国立歴史民俗博物館所蔵）
- G 煩焼阿弥陀縁起絵巻（模本） 江戸時代 鎌倉市指定文化財（光触寺所蔵）